

50年以上前の標本から、お宝発見：丹波篠山市の絶滅危惧種 (トケンラン、ウエマツソウ、シデシャジン)



自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

藤井 俊夫

丹波篠山市史植物編の執筆に関連した標本調査で京都大学総合博物館の標本を調べると、50年以上前の貴重な標本が保存されていることが判明しました。

何時間も標本庫にこもって丹波地域の標本を調べる作業は忍耐力がいるが、絶滅危惧種の数十年前の標本を発見したときには報われる思いです。またトケンランは当時京都大学の小泉源一が樋口繁一の案内で現地を訪れ、複数の標本を採集していることが判明し、丹波希産の植物として近畿植物同好会々誌に報告していました。当時の状況が目に浮かびます。

RDBの基準では、50年間記録が無ければ絶滅の判定になります。



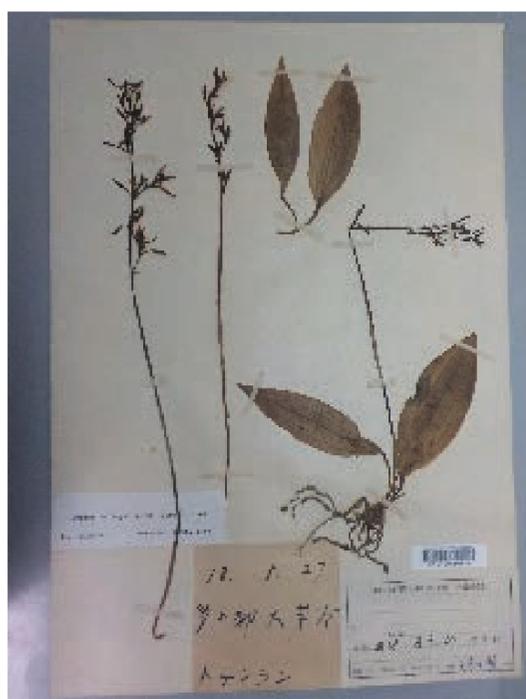
シデシャジン (撮影：樋口清一)



トケンラン (撮影：樋口清一)



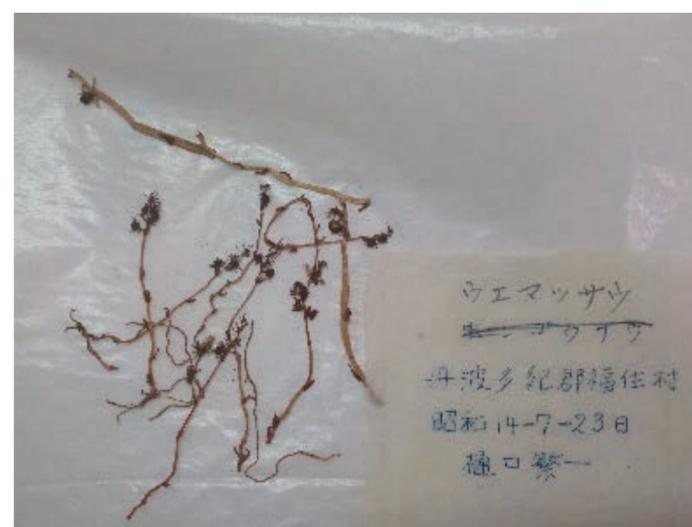
ウエマツソウ (撮影：太治庄三)



トケンラン 標本
樋口繁一 s.n.(1937.May.27)
KYO 収蔵



シデシャジン 標本
樋口繁一 s.n.(1937.Sep.03)
KYO 収蔵



ウエマツソウ 標本
樋口繁一 s.n.(1939.Jul.23)
KYO 収蔵